

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

## 第04回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問01. 以下の(a)以下の取引が、日本の国際収支にとって、それぞれ1 貿易収支、2 サービス収支、3 所得収支、4 金融収支（外貨準備以外）、5 外貨準備のどれに該当するかを解答欄に番号で答えなさい。どれにも該当しないものには、6 を答えなさい。ただし、各取引に伴って生じる民間銀行経由の代金決済を除いて、本来の取引そのものについて考えること。※数字の横にピリオドなどは記入力不要。ネットで解答入力の際は、不必要なピリオドや半角スペースなどを入れると、正解として取り扱われません。

- (a) 日本の（＝「日本所在の」。以下同じ）自動車会社が、アメリカに自動車を輸出した。  
解答欄⇒〔 1 〕
- (b) 日本の自動車会社が、アメリカの自動車会社を買収した。解答欄⇒〔 4 〕
- (c) 日本の自動車会社が、アメリカの会社から特許の使用を承認されて、料金を支払って利用した。解答欄⇒〔 2 〕
- (d) 日本の自動車会社が、保有する株式への配当を外国企業から受け取った。  
解答欄⇒〔 3 〕
- (e) 日本人（日本に居住）がアメリカに旅行した。解答欄⇒〔 2 〕
- (f) 日本の自動車会社の株式を保有（10%未満）していたアメリカの企業が、その株を売却した。解答欄⇒〔 4 〕
- (g) 日本の通貨当局が、東京外国為替市場で円売り・ドル買い介入を実施した。  
解答欄⇒〔 5 〕
- (h) アメリカに所在する日系企業が、自動車を現地生産して日本に輸出した。  
解答欄⇒〔 1 〕
- (i) アメリカの親戚から、日本人（日本所在）に仕送りが行われた。解答欄⇒〔 3 〕

問02. 以下の各取引が、日本の国際収支統計の1 貿易収支、2 サービス収支、3 第一次所得収支、4 第二次所得収支、5（外貨準備以外）の金融収支、6 外貨準備のどれに該当するかをそれぞれ解答しなさい。どれにも該当しないものには、7 を答えなさい。ただし、各取引に伴って生じる民間銀行経由の代金決済を除いて、本来の取引そのものについて考えること。※数字の横にピリオドなどは記入力不要。ネットで解答入力の際は、不必要なピリオドや半角スペースなどを入れると、正解として取り扱われません。

- (a) 日本銀行が、東京外国為替市場で円売り・ドル買い介入をした。解答欄⇒ [ 6 ]
- (b) 日本からの旅行者がアメリカを旅行して帰国した。解答欄⇒ [ 2 ]
- (c) アメリカに所在する日本企業の子会社が、中国所在の取引企業に財を輸出した。  
解答欄⇒ [ 7 ]
- (d) アメリカの投資家が、日本企業が発行した株を購入した。解答欄⇒ [ 5 ]
- (e) 日本の企業が、中国の子会社が挙げた収益を回収した。解答欄⇒ [ 3 ]
- (f) 地震が起きた外国に対して、日本政府や日本の人々が、義援金を送金した。  
解答欄⇒ [ 4 ]

問 03. 国際収支統計を説明した下の各文が正しければ1、間違っていれば2をそれぞれ解答しなさい。

- (a) 国際収支表には、フロー統計とストック統計とグロス統計の三種類がある。  
解答欄⇒ [ 2 ]
- (b) 国際収支統計は複式簿記の原理で記録されていて、一つの取引とその決済の二種類について、それぞれ二箇所、計四箇所に記録される。解答欄⇒ [ 2 ]
- (c) 一つの国の経常収支と資本移転等収支を足すと、金融収支に等しくなる。※誤差脱漏は捨象。解答欄⇒ [ 1 ]
- (d) すべての国の貿易収支を合計すると、理論上はゼロになる。解答欄⇒ [ 1 ]
- (e) 国際収支表は、経営収支、資本移転等収支、金融収支で構成されている。  
解答欄⇒ [ 2 ]

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

### 第05回 設問

下の各問いに解答しなさい。

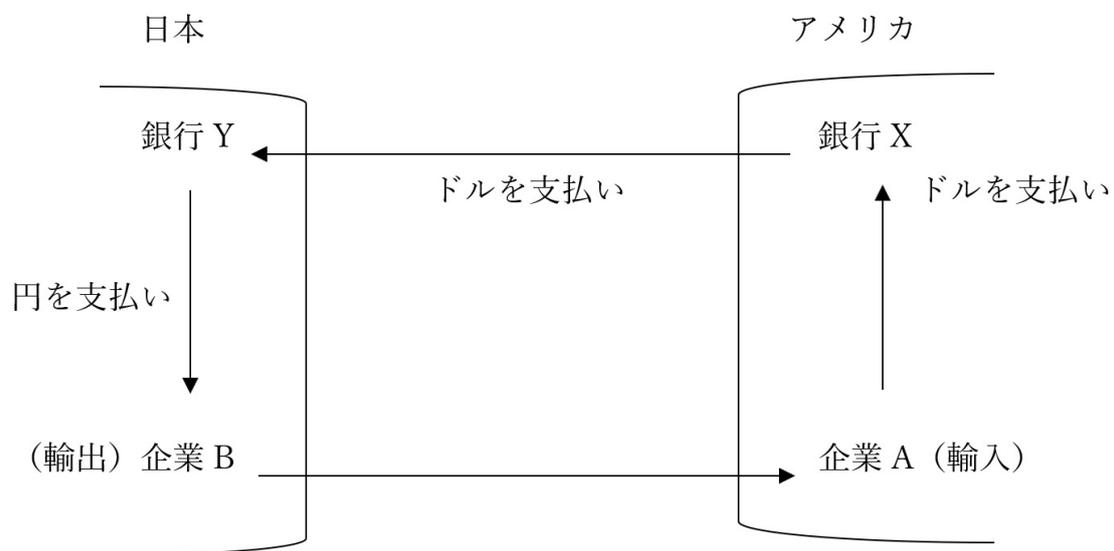
問01. 日本の企業Aがアメリカの企業Bから財をドル建てで輸入して、その代金の決済は日本の銀行甲とアメリカの銀行乙の間で行われたとする。その決済の内容はどのようになるか。下の選択肢の中から適切な説明を一つ選び、番号で解答しなさい。解答欄⇒ [ 5 ]

〔選択肢〕

- 1：乙が甲に持つドル預金の引落し。2：乙が甲に持つ円預金の引落し。3：乙が甲に持つドル預金への振込み。4：乙が甲に持つ円預金への振込み。5：甲が乙に持つドル預金の引落し。6：甲が乙に持つ円預金の引落し。7：甲が乙に持つドル預金への振込み。8：甲が乙に持つ円預金への振込み。

問02. アメリカの企業Aが、日本企業Bから財を輸入した。最初に、この取引と代金（ドル建て）の決済はどのように行われるか、図を補助としつつ文章で説明しなさい。なお、決済はアメリカの銀行Xと日本の銀行Yの口座を使って行われることとする。次に、アメリカの国際収支統計では、輸入と代金の決済がどのように記録されるか、説明しなさい。

(解答例)



まず、AはBから財を輸入する。よって、輸入した企業Aは、代金を口座引落しで銀行Xにドルで支払う。銀行Xは銀行Yに代金を支払う。ドル建ての契約なので、この銀行間の決済はドルで行われる。ドルはアメリカの通貨なので、その通貨の母国つまりアメリカに開設されている預金を使う。すなわち、YがXに持つドル建てのコルレス口座を使って、XがY

にドルを支払う。この場合は、Yの口座にXが代金を振り込むことになる。最後に、YはBに代金を支払うが、その取引は日本国内なので、通常、円で行われる（BがYに持つ預金口座への振込み）。

アメリカの国際収支統計では、財の輸入は、経常収支の貿易収支の項目に輸入として記録される。XからYへの銀行間の支払いは、金融収支のその他投資の項目に支払いとして記録される。なお、AとX、および、BとYとの取引は居住者間のものなので、国際収支統計には記録されない。

◎サンプル答案として利用されることを望まない場合、レ点⇒□

## 第06回 設問

下の各問いに解答しなさい。

問01. 一つの国の国際収支の経常収支と資本移転等収支をすべて合計すると、その金額は金融収支と等しくなる（誤差脱漏を除く）。その理由として、最も適切な説明は選択肢の中のどれか、記号で答えなさい。解答欄⇒〔 (d) 〕

〔選択肢〕

- (a) たとえば、ある国にとっての輸出は、相手の国にとっては輸入なので、合計するとプラマイゼロとなるからである。
- (b) たとえば、ある国にとっての輸出は、その決済にかかわる金融収支において、中央銀行のコルレス勘定では対外資産の増、または、対外負債の減として記録されるからである。
- (c) たとえば、輸出（+）は、金融収支の外貨準備で同額がマイナス（-）で記録されるからである。
- (d) たとえば、輸出（+）は、金融収支のその他（その他投資）で同額が記録されるからである。

問02. 以下の (a) 以下の各文を表す用語を下の選択肢から選び、それぞれ番号で対応関係を答えなさい。ただし、選択肢の中には不要なものが含まれている。

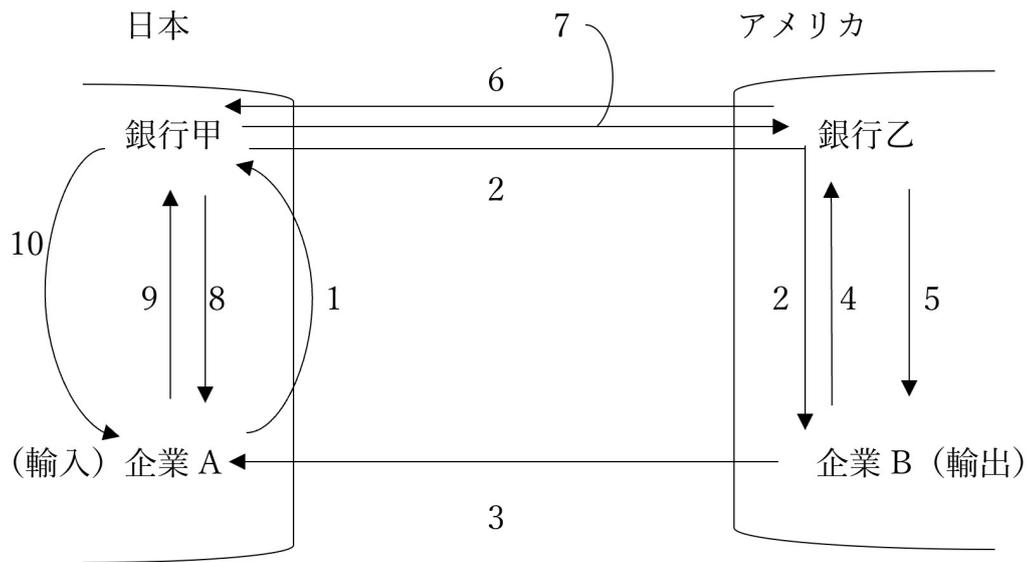
- (a) 輸出される貨物の内容・数量・価格などを記載した書類。いわば、明細書である。  
解答欄⇒〔 1 〕
- (b) 船積書類が添付されている為替手形。解答欄⇒〔 5 〕
- (c) 輸出される貨物を受け取る権利を化体した有価証券。海上輸送を担当する船会社が発行する。解答欄⇒〔 6 〕
- (d) 主に輸入者側の銀行が開設する債務保証の書類。依頼者はその手数料を銀行に支払う。もし輸入者が輸入代金を支払えなくても、これを発行した銀行は必ず代金を輸出者ないし輸出者側の銀行に支払わなければならない。  
解答欄⇒〔 4 〕

〔選択肢〕

- 1 送り状、2 為替手形、3 原産地証明書、4 信用状、5 荷為替手形、6 船荷証券、
- 7 保険証券、8 保証証券

問 03. 日本の企業 A がアメリカの企業 B から財を輸入したとする。さらに、代金の決済は円建てで、日本の銀行甲とアメリカの銀行乙を通して決済されたと仮定する。貿易の手続きと信用状付きの為替決済は、どのような手順で行われるか。図を補助としつつ文章主体で説明しなさい。ただし、以下の語句を文章に入れること。語句：信用状、船荷証券、船積書類、為替手形、コルレス口座。※なお、これらの語句を入れた場合、それぞれの語句にはアンダーラインを引きなさい。

(解答例)



輸入企業 A は、取引銀行甲にたいして、料金を支払って信用状の開設・発行を依頼する (1)。甲は信用状を乙にたいして開設・発行する (2)。乙は B にたいして、信用状が開設されたことを通知する (2)。B は貨物を日本の企業 A に輸出する (3) —海上輸送と保険の契約と検疫などについては省略。B は乙に為替手形と船積書類—送り状、船荷証券、保険証券など—を持参する (4)。乙は B にただちに代金をドルで支払う (5) —ここでは、一覽払い手形であると仮定する。乙は為替手形と船積書類を甲に送る (6)。甲は乙に代金を円で支払う (7) —ここでは一覽払い手形であると仮定。甲は A に手形を提示する (8)。A は代金を円で甲に支払う (9)。甲は A に船積書類を渡す (10)。船積書類を受け取った A は、その中の船荷証券を運送会社 (船会社) に持参して、貨物を受け取る。

以上が、信用状付きの貿易決済の典型的な一例である。他に、信用状の発行を輸出企業が依頼するケースや、信用状の開設・発行を銀行以外が行うケースや、為替手形に満期があるケースなどがある。また、甲から乙への支払いは、A が甲に支払った後のケースもありうる。

甲から乙への円の支払いは、乙が甲に持つ円建てのコルレス口座を使って行われる。すなわち、甲が乙に支払うわけだから、乙の口座に甲が円を振り込むことで決済される。